

／ ライフケアサポート情報誌 ／

こもれび

K O M O R E B I

済生会鹿児島地域福祉センター

2022年
新たな年に！



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 鹿児島県済生会
済生会鹿児島地域福祉センター

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL.099-284-8250 FAX.099-284-8252

☐ <http://www.saiseikai-kg.jp>

2022

vol.38

新年号



不易流行

ー現代版「人生の計は元旦にあり」ー



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族やお仲間とともに心新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症も昨秋以降は小康状態を保っていましたが、オミクロン株の感染拡大が危惧されはじめ、済生会鹿児島地域福祉センターも入所者様、ご利用者様にウイルスを持ち込まぬよう、細心の注意を払っています。

今後さらに感染症予防対策に一層の注意が必要ですが、超高齢大国のわが国においては忘れてはならない大きな課題の一つに孤独死・看取り難民の問題があります。

厚労省の予測では、2035年には45万人もの看取り難民が発生すると予測しています。超高齢社会の進展と家族構造の変化や地域における互助やつながりの希薄化により、身寄りのない独居高齢者、独居者、閉じこもり等の方々が増え、健康障害や体調不良の際に、本人側、受け入れ側双方の理由で、適時適切な医療や介護福祉サービスに繋がることができず、孤独死となってしまう例が増えています。また最近では身寄りがあっても頼れない方々も多く、実際の看取り難民予備軍は一層多く存在・増加することが予測されます。

私たちは皆、様々な困難を抱えながら、自分のため家族のため、世のため人のために努力して人生を歩んでいますが、元気な間は自分の人生の完結の仕方について現実的に考えている人は多くないようです。人生終わりよければすべて良しということわざもあります。

幸せな死についての調査研究によると、ほとんどの人が人生の最後は、自分の望む形での医療やケアを受け、愛する人たちに囲まれ、何も思い残すことなく、不安もなく、感謝しながら幕を閉じたいと願っています。このうち、医療やケアに関しては、それを実現する手段のひとつに厚労省が推奨しているACP(アドバンスケア プランニング)という終末期の医療やあり方に関する計画の検討がありますが、国民で実践している人は未だ少ないとされており、誕生日、退職日、元旦など節目ごとに自分のACPを立てる・見直すことが勧められています。

さらに、身寄りのない場合や頼れる人がいない場合に納得のいく人生の完結を可能にするには、平常時からの自助・互助・共助・公助の仕組みがなくてはなりません。最終段階のセーフティネットとして、公助はありますが、ほとんどの方が人生の最後は家族や仲間や近い人に看取られたいと願っています。



そのために今から準備できることとして、自助レベルでは自分の最後に受けた(受けたくない)医療やケアについてあらかじめ決めておくこと(ACP)、身寄りのない場合は身元保証人を契約しておくこと なんでも相談でき助け合える仲間をつくっておくこと等です。

互助・共助のレベルでは身寄りのない仲間同士の互助会等をつくり、日ごろから繋がりを強めておき、いざというときに身元保証人として支援しあうこと、看取りとその後の対処について支援する事業としての仕組み(身寄りのない人々が加入しやすい仕組み)を増やすこと 日常的な地域の見守りシステムや互助のシステムなどです。

以上のしくみづくりの具現化に資するため、済生会鹿児島病院と済生会鹿児島地域福祉センターからなる済生会鹿児島包括ケアセンターでは、令和3年度より「身寄りのないおひとりさま終活支援プロジェクト」を立ち上げ、活動を開始しました。

令和3年度はプロジェクト推進会議を設置し、問題意識の共有のための学習会(鹿児島市所管課長、NPO法人の講演) 身寄りのない独居者の困りごと、医療や介護福祉にかかる課題、互助・共助レベルの社会資源の状況等の現状と課題の調査等を実施し 令和4年度はシンポジウムや支援マニュアルの検討を実施し

令和5年度は身寄りのないおひとりさま終活支援ガイドラインの作成等を予定しています。
推進会議のメンバーは、当事者会代表、民生委員代表、社協代表、地域包括支援センター代表、MSW協会代表、医療機関代表、NPO法人つながる鹿児島、司法書士会代表、鹿児島病院・鹿児島地域福祉センター代表から成ります。

済生会は現在、SDGs(サステイナブル デベロップメント ゴールズ)(持続可能な開発目標)とともにソーシャルインクルージョン(社会的包摂)の地域づくりを推進していますが、身寄りがある人もない人もすべての住民に孤独死・看取り難民を出さない共生地域社会づくりは、人のいのちと尊厳を大事にする根源的なテーマであり、現代尚更のテーマであると考えています。

年の初めに、まず自身の人生計画(ACPなど)を立てましょう。(わからないことはかかりつけ医や医療・看護・福祉の専門家に相談しましょう)。

助け合える仲間づくりの計画をたてましょう。(コロナ感染予防しながら)。

済生会も、皆様とともに、おひとりさま終活支援プロジェクトの推進など、すべての皆様が生きててよかったと思える地域社会づくりに貢献できますよう頑張ってまいります。

今年もどうかよろしく願い申し上げます。

済生会鹿児島地域福祉センター所長
吉田 紀子

済生会鹿児島地域福祉センター



2022年 新たな年に!



福祉センター各事業所、四字熟語の抱負とともにご挨拶いたします。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

ちょう らく まん ねん

長楽萬年



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆さまにおかれましては、佳きお年をお迎えのことと存じます。

一昨年より続いています新型コロナウイルス感染症も、ワクチン接種が進んだこともあり、感染者数も減少してきており、徐々に従来の生活に戻りつつあります。

ご家族の皆さま方には、長期にわたり面会制限をお願いしご不便、ご心配をおかけいたしました。現在は、感染状況に応じて少しずつ制限を緩和し、ご家族と入居者さんが直接お会いできるようになり、皆さんの笑い声や素敵な笑顔が溢れ、人と人の繋がり、温もりの大切さを改めて感じています。

本年も入居者、ご利用者の皆さまが、穏やかにお過ごしいただけますように、職員一同努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



副所長・特別養護老人ホーム施設長
向井 康子

えい じゅ か ふく

永寿嘉福

新たな年を迎え、職員一同気持ちを新たに、利用者様が笑顔で安心して暮らし続けられるように努めて参りたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



特別養護老人ホーム高喜苑

いち よう らい ふく

一陽来復



新年明けましておめでとうございます。

忍耐の時を乗り越えて・・・ケアハウスで新たな生活様式にトライ!!

如何様な状況下にあっても、お一人おひとりが明るく穏やかな気持ちでくらしを楽しんでいただきたい・・・

新しい生活様式が求められる中、創り出す日常の拡がりにトライします。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

シルバーフラット武岡台



いち ごん ほう おん

一言芳恩



新年を迎え謹んで新春をお祝い申し上げます。

今年も皆様からのご支援を賜り「一言芳恩」のごとく、職員一同常に感謝の気持で、入居者の皆様が健康で、そして笑顔で暮らして頂けますよう努めて参ります。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

済生会なでしこの杜



へい おん ぶ じ

平穏無事



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

今年も職員一同力を合わせてご入居の皆様が平穏無事に笑顔で楽しく過ごしていただけるよう努力してまいります。

今年もよろしくお願いいたします。

グループホーム武岡五丁目



しん しゅん ばん ぶく

新春万福



謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年中は新型コロナウイルスの影響の中、皆様より沢山のご支援ご協力を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

本年も“ウィズコロナ”で気を引き締めてまいりたいと思います。

これまで同様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

グループホーム武岡ハイランド



けん こう だい いち

健康第一



あけましておめでとうございます。

今年も皆様が健康にお過ごし頂けますよう、栄養士・配達員ともに皆様に喜んでいただけるお弁当をお届けいたします。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

訪問給食センター高喜苑



しょう もん らい ぶく

笑門来福



あけましておめでとうございます。

コロナ対策は当然のこととなり、まさにWithコロナの時代へと移り変わりました。

世の中の変化はありますが、ご利用者様が変わらず安心して望む生活を実現できるようこれからもサポートさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

居宅介護支援センター高喜苑



かん ぶん こう き

感奮興起



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

皆様との出会いの中でいろいろな感動や学びを頂きました。

訪問看護師として悩みは尽きませんが、充実して勤務できるのも皆様のお陰様と感謝しています。

本年も日々の感動を糧に、皆様の健やかな在宅療養を支えられるよう、努めて参ります。

どうぞよろしくお願いいたします。

なでしこ訪問看護ステーション



ずい しょう しん しゅん

瑞祥新春



～新年を喜び、皆様に吉兆が届きますように～

日本では、感染対策の規制緩和がなされ、落ち着き始めておりますが、新たな感染リスクも増えており、油断できない状況が続いております。ご利用者様には、日々、感染対策等のご協力をいただきまして、誠に感謝いたしております。

また、ご家族様にも面会制限や帰省時のご配慮、ご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

今年も、武岡台デイサービスセンターをよろしくお願い申し上げます。皆様に素敵なことが起こりますように、今年、『瑞祥新春』を贈らせていただきます。

武岡台デイサービスセンター



ふ　　とう　　ふ　　くつ
不撓不屈



新年、明けましておめでとうございます。

新年を迎えられ皆様穏やかに過ごしたの事と思います。

昨年は新型コロナウイルス感染の拡大に始まり、いろいろな思いの中で過ごされた方も多かったかと思ひます。

私たち事業所でも、利用者の皆様に安心したサービスを提供できるようにと例年以上に身を引き締め取り組んだ年でした。

今年は、より一層皆様が心安く、そして快適に生活して頂けますよう、私たち職員一同何事にも負けない覚悟、「不撓不屈」の精神で頑張つて参ります。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

ホームヘルプステーション高喜苑
済生会サポートセンターなでしこ



いっ　しん　しょう　じん
一心精進



今年の干支は寅年

新年あけましておめでとうございます。

事務所では、ソーシャルでスタンスを保ちながら

たのしい一年にするために

いちにち一日を大切に

がんばりすぎず

あかるく

をモットーに、自らの信念に基づいて努力します。

今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

事務部門





わたしたちの ソーシャルインクルージョン 新たな取り組み



おひとり様終活支援プロジェクト事業

日本における急速な高齢化は、2030年度問題と言われ、医療や福祉の分野において非常に大きな社会問題となっています。

また、一人暮らしで身寄りがなく、社会的に孤立した高齢者等の増加も見込まれています。そこで、済生会鹿児島ケアセンター（済生会鹿児島病院、済生会鹿児島地域福祉センター）では、おひとり様終活支援プロジェクト事業を設立し、身寄りのない方々の課題解決に向き合う為の支援を開始いたします。

事業開始にあたり、推進協議会を令和3年12月22日に開催いたしました。協議会は、済生会鹿児島地域ケアセンターが運営を行い司法書士会、医師会、NPO法人やどかりサポート・つながる会、医療ソーシャルワーカー協会、地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、当事者会、他の諸団体の協力を頂いています。

会議では、協議会会長の吉田ケアセンター長より事業設立の意義や目的、事業の3か年計画の説明から始まり、各委員が現在課題と感じている「身寄りのない方への支援や課題」についてフリートークを行いました。どの委員も支援の必要性や本事業への期待の発言が聞かれました。

後半には、鹿児島市地域福祉課長による「孤独死への対応と地域共生社会」、NPO法人つながる鹿児島理事長による「『身寄り』問題の解決に挑む」と題した講演をいただきました。



福祉センター委員会活動 活動内容照会

▶ サービス向上委員会

サービス向上委員会では、サービス向上に関する事項全般について話し合いを重ねています。その中でも「サービス向上に向けた標語」は、毎年4月に全職員へ作成を呼びかけ、その中から12の標語を選出し毎月の標語として、各事業所へ掲示します。これは、職員一人一人の接遇やサービス向上に向けた意識の向上を目的としています。

今年度の標語8つをここにご紹介致します。



コスモス見学へ

📍 グループホーム武岡ハイランド

11月初旬に“都市農業センター”にコスモス見学へ出かけました。コロナによる自粛生活が続く中、久々の外出となりました。農業センターへの道中では、葉の色の変わった木々を見て、「紅葉しているね。秋だねえ。」と話が弾み、到着すると満開のコスモスに出迎えられ、皆様の表情もパツと明るくなりました。「満開だね、いろいろな色があるねえ。」「昔も見に来たことがあるよ。」と饒舌に話してくださいました。

コロナ禍でなかなか外出もままならない状況ではありますが、少し肌寒い風やコスモスの花の匂いなど秋の気配を感じて頂けたのではないかと思います。コロナ感染者数は下火になりつつありますが、新たな変異株の出現などまだまだ気の置けない状況が続きます。

引き続き、感染対策をしっかりと行い、皆様が安全に安心して過ごせる環境を整えていきたいと思います。



久しぶりの慰問ボランティアとクリスマスイブ

📍 済生会なでしこの杜・グループホーム武岡ハイランド

ここ数年自粛されていた、ボランティアの受け入れを年末の12月24日に実施できました。

毎年学期末に近くの武岡台高校の学生さんがボランティアに来て下さいます。今年は、やっと3年ぶりに再会できました。

この日は、ダンス部、吹奏楽部を主とした学生80名程度が来られ、寒い中屋外の草むしりをはじめ日頃の取り組みの成果を披露してくださいました。

寒さを感じる中でしたが、防寒を徹底した入居者の皆さんは、久しぶりに目の前で見る演奏やダンスに聞き入り、一緒にリズムを取り本当に楽しい時間を過ごされました。

感激のあまりに多くの方々が目を潤ませていらっしゃいました。このような時間が日常であったことを思い出し、そして、またこのようなことが今後も多くあることをイブの日に願い、大きなクリスマスプレゼントに感謝したひと時でした。



〈基本理念〉 「救療済生」の済生会精神に則り、福祉に貢献する。

〈基本方針〉

1. 私達は、利用者から信頼され、満足していただける介護・福祉を目指して、常に利用者の立場に立ち、利用者の気持ちになって介護を行います。
2. 私達は、利用者の権利を尊重し、その意思に添えるよう努めます。
3. 私達は、常に利用者の安全に気を配り、安心して介護が受けられるように努力します。
4. 私達は、最新の介護知識や介護技術の習得に研鑽します。
5. 私達は、地域の人々と交流を図り、人々が求めている要望に応えられるよう努力します。

〈利用者の権利〉

1. その人格を尊重される権利があります。
2. 社会的地位・国籍・人種・宗教・性別などにより差別を受けることなく、公正・平等に介護を受ける権利があります。
3. 自分が受けている介護に関するすべての情報について知る権利があります。
4. 自分に関するすべての個人的情報を守ってもらう権利があります。

特別養護老人ホーム 高喜苑

〔介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-284-8253 **FAX** 099-284-8252

シルバーフラット武岡台

〔軽費老人ホーム／ケアハウス〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6870 **FAX** 099-283-6871

済生会なでこの杜

〔サービス付き高齢者向け住宅〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-202-0710 **FAX** 099-283-6876

指定居宅介護支援センター高喜苑

〔指定居宅介護支援事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-4737 **FAX** 099-283-4733

グループホーム武岡5丁目

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目16番23号

TEL 099-282-6081 **FAX** 099-283-3533

グループホーム武岡ハイランド

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-7231 **FAX** 099-283-7232

武岡台デイサービスセンター

〔指定通所介護・予防型通所介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6880 **FAX** 099-283-6872

済生会ヘルスサポートセンター武岡

〔ミニデイ型通所介護・運動型通所介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6880 **FAX** 099-283-6872

なでしこ訪問看護ステーション

〔指定訪問看護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-281-9292 **FAX** 099-283-4733

ホームヘルプステーション 高喜苑

〔指定訪問介護・予防型訪問介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6875 **FAX** 099-283-6876

済生会サポートセンターなでしこ

〔定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6875 **FAX** 099-283-6876

訪問給食センター 高喜苑

〔鹿児島市委託事業所・配食事業〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-283-4730 **FAX** 099-284-8255

鹿児島県済生会

〔支部〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-210-5460 **FAX** 099-210-5560

編集 後記

あけましておめでとうございます。昨年も新型コロナウイルスの話題は尽きることなく、収束までの道のりはまだまだ長いな～と感じた一年でした。一方で、そんな暗い話題を吹き飛ばしてくれる野球・大谷 翔平選手の活躍や、オリンピック・パラリンピックでの日本選手団のメダルラッシュに大きな元気をもらい、限られた環境の中でも、目標に向かって、ひたむきに努力を重ねることの大切さを学びました。私も2022年の新たな目標を立てて、充実した一年を送りたいと思います。